

小中学校研究主任研修会にて、実践報告

島尻教育研究所の短期研修に校内研究主任研修会があります。去る9月2日(水)に開催した第2回目は、南風原町立翔南小学校研究主任 儀間奏子教諭と豊見城市立伊良波中学校研究主任 下地早苗教諭に実践報告をしていただきました。

グループ協議では、小学校は「日常の授業の質を向上させるための、協働で取り組む校内研修のあり方」、中学校は「教科の指導力を向上させるための、協働で取り組む校内研修のあり方」について、各学校における工夫や課題を中心に協議が行われました。

研究主任として、全職員参画の校内研修を目指して、工夫した取り組みをお互いに情報交換すると共に、課題解決に向けての対策を話し合うことができた研修会でした。



写真1 儀間奏子教諭の実践発表



写真2 下地早苗教諭の実践発表

【研修会の概要】

- 1 開会のことば
- 2 所長のあいさつ 島尻教育研究所長 上原雅志
- 3 実践発表
 - (1) 南風原町立翔南小学校 研究主任 儀間奏子
 - (2) 豊見城市立伊良波中学校 研究主任 下地早苗
- 4 グループ協議

小学校「日常の授業の質を向上させるための、協働で取り組む校内研修のあり方」

中学校「教科の指導力を向上させるための、協働で取り組む校内研修のあり方」
- 5 各グループの発表
- 6 閉会のことば

受講生の感想 (研修後のアンケートから)

- テーマをもって理論研修を深め、お互いの授業実践を共有することで、指導力、授業力の向上につながったことが具体的に分かりやすかったです。
- 実践発表は具体的な例があり、分かりやすかったです。体験学習や先生方の校外研修、3つの発問等、参考になることが多くありました。
- 実践発表の中で、校内の人材を活用して授業力を高めていくことは、よいアイデアだと思いました。
- 校内の人材を活用した研修や研究授業の様子を伝える校内研修便りなどが、大変参考になりました。
- 学校が異なっても課題は同じ、同じ目線で検討することができたので、改善策でできた案を持ち帰り参考にしたいと思います。
- 共通理解、共通実践をするために、それぞれの先生方が悩みながらも様々なしかけをして取り組んでいることがわかりました。



写真3 協議の様子



写真4 発表の様子

各グループの協議の足跡

